

<築堤・護岸の例>

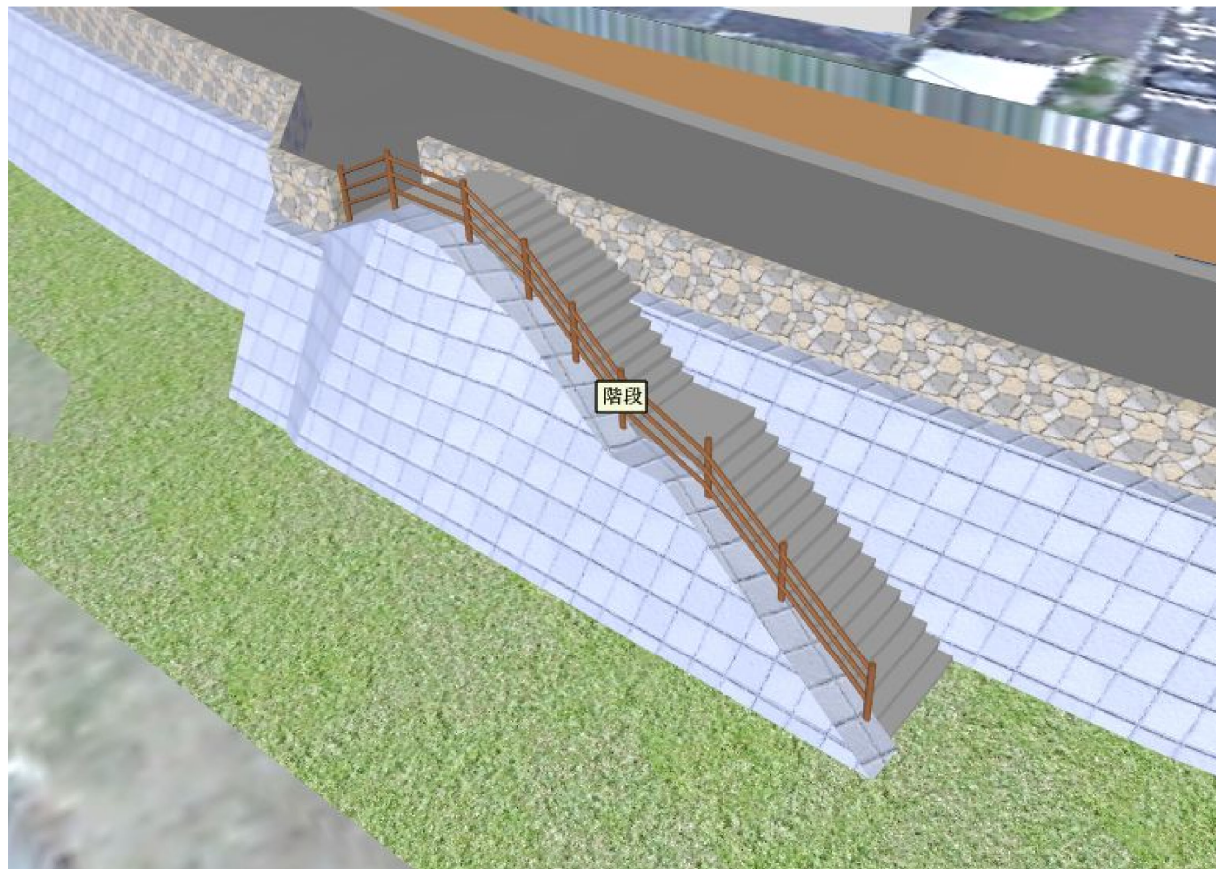
- 活用内容: 一般平面図、縦断面図、標準横断面図、付帯施設構造図、護岸構造図、展開図、土工横断面図、場所打RC部の配筋図等をBIM/CIMモデルとして作成する。BIM/CIMモデルには、仮設平面図、切廻し水路設計図、工事用道路設計図、仮締切設計図等の要素を含め、設計の確認に活用する。
- 活用方法: 設計図(詳細図)に該当する情報をBIM/CIMモデル化し、詳細図作成段階における設計確認を行う。

<樋門・樋管の例>

- 活用内容: 基礎工、地盤処理工、本体工、ゲート工、付帯工等の設計図(詳細図)を構成する要素をBIM/CIMモデルとして作成し、設計の確認に活用する。
- 活用方法: 設計図(詳細図)に該当する情報をBIM/CIMモデル化し、詳細図作成段階における設計確認を行う。

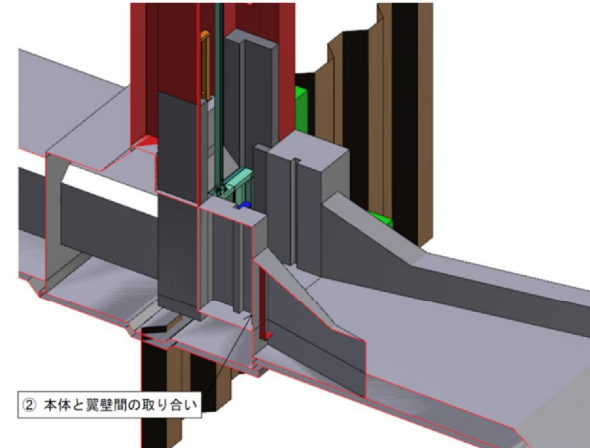
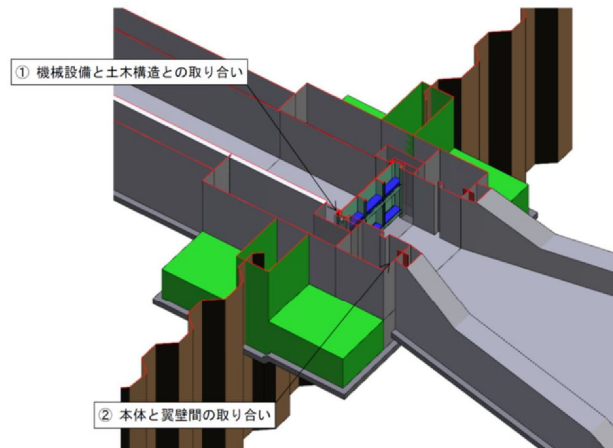
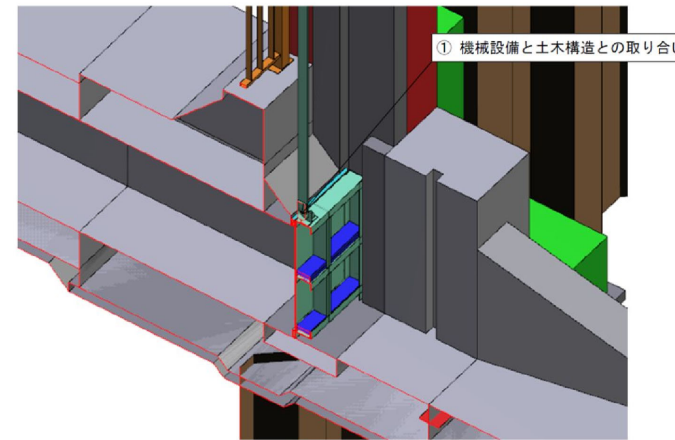
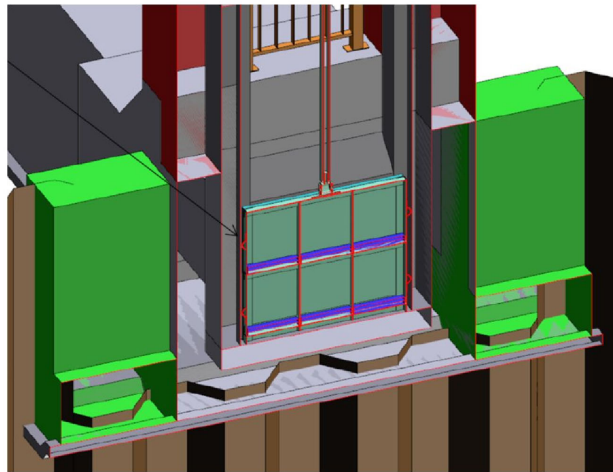
<築堤・護岸の例>

- 活用事例: 由良川築堤等設計業務
- 階段段数まで詳細化したBIM/CIMモデルを作成し、2次元図面上では把握が困難な、現況の地形および大型ブロック積護岸までの擦り付けの調整、干渉等の不整合の確認等に活用した。



<樋門・樋管の例>

- 活用事例: 麻生津地区樋門詳細設計他業務
- 樋門工事において、2次元図面上では把握が困難な機械設備と土木構造物との
取り合い詳細のBIM/CIMモデルを作成し、干渉がないことを確認した。



<道路の例>

- 活用内容:設計結果に基づき下記の図の要素を含んだBIM/CIMモデルを作成する。工事発注に際して留意すべき設計条件等は属性情報等としてBIM/CIMモデルに付与し、設計の確認に活用する。
 - ①路線図
 - ②平面図
 - ③縦断図
 - ④標準横断図
 - ⑤横断図
 - ⑥詳細図
- 活用方法:設計図(詳細図)に該当する情報をBIM/CIMモデル化し、詳細図作成段階における設計確認を行う。

<道路の例>

- 活用事例: H30新山梨環状道路整備効果検討その他業務
- 橋台背面の補強土壁工についてBIM/CIMモデルを作成し、2次元図面上では把握が困難な、橋台躯体や埋設水路ボックスと壁面材、補強材の干渉確認を実施した。

